

コード	501040704
記入日	H24.5.9

課コード	124
課名	学校教育課
課長名	濱崎 健也
担当者	青山 一信

# 事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	小学校受信機取替事業
----------	------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	501	施策名称	学校教育の充実	項コード	2
基本事業コード	50104	基本事業名称	教育環境の整備	目コード	1
事務事業コード	5010407	事務事業名称	小学校施設整備事業費	細目コード	966
関連計画	法令・条例規則等				

## 計画 ( PLAN )

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 若松東小学校	(対象2)	(対象指標1) 1校	(対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・若松東小学校では、自動火災警報装置設備が受信機電話呼出音の不鳴動等によって、改修計画を余儀なくされていたため、取替工事を行うものである。	・平成23年度に、自動火災警報装置取替のための改修工事を行った。	*****	*****	*****	取替工事÷ 取替予定工事	*****
		① 受信機取替	1.0式	100%		平成23年度
		(達成率分析)	計画どおり自動火災警報装置の改修を行った。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・若松東小学校の自動火災警報装置受信不良により取替工事を行い防火安全対策の強化を図る。		*****	*****	*****	実施事業費÷ 計画事業費	*****
		① 進捗率	2,269千円	100%		平成23年度
		(達成率分析)	計画どおりの事業進捗によって自動火災警報装置の改修を達成することができた。			
		②				
		(達成率分析)				

## 実施 ( DO )

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 23 ~ H 23		22年度以前	23年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 式	1.0	1.0		1.0	1.0
	②					
成果指標	① %	100	100		100	100
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	2,969	2,969		2,969	2,969
直接事業費 A	千円	2,269	2,269		2,269	2,269
人件費 B	千円	700	700		700	700
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円				
	その他	千円				
一般財源	千円	2,969	2,969		2,969	2,969

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	教育施設において児童の安全に資する防火施設の整備は、施設管理者として非常に重要な責務であり、防火安全対策の強化はよりよい教育環境につながる。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	自動火災警報装置の改修によって、より安全性の高い教育環境の推進を図ることができた。
	効 率 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	自動火災警報装置の改修は、消防法に基づく必要な整備であり、費用や設置内容からも効率的に実施できた。

**改善 ( ACTION )**

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点（事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点）	
	<p>児童生徒が安心して教育を受けるための環境の整備充実を図ることは、施設管理者としての責務であり、小中学校の消防設備の充実を図ることにより災害対策を強化するとともに、老朽化した消防防災設備の改修を行うことによって、より質の高い教育施設の安全性の確保に努める。</p>	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策（目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策）	
	<p>目的は達成された。</p>	
2 次 評 価	<p>今後も児童が安心して教育を受けるための環境の整備・充実に努めること。</p>	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。